

大麦特報 (第5号)

平成29年5月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

本年は、出穂期が平年より早く、その後も高い気温で推移していることから、成熟期は平年より早くなる見込みです。

今後は、登熟条件を良好に保ち、根の健全化を図るために、用水路や隣接田から水が浸透しないよう水口や畦畔からの漏水状況を点検し、湿害を確実に回避するとともに、下表を参考に、成熟したほ場から計画的に刈取りを進めましょう。

刈取前の注意事項

(1) カラスノエンドウの抜き取り

刈取前にはほ場を巡回し、カラスノエンドウがあれば必ず抜き取り、ほ場外で処分しましょう。

この種子(右写真参照)は粒厚が3mmと大きく、刈取時に混入すると、調製では取り除くことができません。

(2) 被害粒の混入防止

湿害等による生育不良の箇所では品質低下や病害の発生が懸念されます。赤かび病等被害粒の混入を防ぐために事前に確認し、場合によっては刈取及び搬入は別扱いとしましょう。



<成植物>



<豆果>



適期刈取の実施

≪刈取時期の予想≫

出穂日	4/15	4/19
成熟期 (予想日)	5/29 頃	6/1 頃

*成熟期：出穂日以後の積算気温（5月16日以降は富山気象台秋ヶ島平年値の+1.0℃/日を使用）で予想。

穂軸と茎葉が完全に黄化し、

子実水分30%以下となったほ場から順次刈取りを開始しましょう。

早刈りは粒の充実が不十分で**空洞粒の原因**となります。また、刈遅れは**収穫ロスが多くなる上、熟色不良**となるため、穂首が折れる前に収穫を終わらしましょう。

屈曲した穂の割合が50%程度になったら、収穫です！

